【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年8月9日(2024.8.9)

【公開番号】特開2022-117477(P2022-117477A)
【公開日】令和4年8月10日(2022.8.10)
【年通号数】公開公報(特許)2022-146
【出願番号】特願2022-10346(P2022-10346)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 47/32(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/38(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/14(2017.01)
Ａ６１Ｋ 47/10(2017.01)
Ａ６１Ｋ 47/28(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/18(2017.01)
Ａ６１Ｋ 31/192(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/045(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/235(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/165(2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 31/04(2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/04(2006.01)
Ａ６１Ｋ 9/08(2006.01)
Ａ６１Ｋ 9/06(2006.01)
Ａ６１Ｋ 9/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 47/32
Ａ６１Ｋ 47/38
Ａ６１Ｋ 47/14
Ａ６１Ｋ 47/10
Ａ６１Ｋ 47/28
Ａ６１Ｋ 47/18
Ａ６１Ｋ 31/192
Ａ６１Ｋ 31/045
Ａ６１Ｋ 31/235
Ａ６１Ｋ 31/165
Ａ６１Ｐ 29/00
Ａ６１Ｐ 31/04
Ａ６１Ｐ 17/04
Ａ６１Ｋ 9/08
Ａ６１Ｋ 9/06
Ａ６１Ｋ 9/12

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月1日(2024.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）薬効成分、（Ｂ）水不溶性ポリマー、（Ｃ）不揮発性基剤、（Ｄ）揮発性溶媒、及び（Ｅ）水を含有し、２５℃における粘度が１．０ｍＰａ・ｓ以上１０，０００ｍＰａ・ｓ以下である、外用剤組成物であって、
成分（Ｃ）はエステル油、非極性油及びアルカノールアミンからなる群から選ばれる１種又は２種以上の不揮発性基剤であり、少なくともエステル油及び非極性油からなる群から選ばれる１種又は２種以上を含有し、
成分（Ｂ）に対する成分（Ｃ）の質量比［（Ｃ）／（Ｂ）］が０．０５以上であり、
被膜形成性を有する、外用剤組成物。
【請求項２】
成分（Ａ）が消炎鎮痛成分、局所刺激成分、血行促進成分、抗ヒスタミン成分、生薬成分、鎮痒成分、局所麻酔成分、角質軟化成分、殺菌成分、及び抗菌成分からなる群から選ばれる１種以上を含む、請求項１に記載の外用剤組成物。
【請求項３】
成分（Ａ）がサリチル酸グリコール、サリチル酸メチル、ジクロフェナクナトリウム、ロキソプロフェンナトリウム、ケトプロフェン、フェルビナク、インドメタシン、ピロキシカム、フルルビプロフェン、グリチルリチン酸、グリチルレチン酸、ｌ－メントール、ｄｌ－カンフル、ノニル酸ワニリルアミド、ハッカ油、ニコチン酸ベンジル、ポリエチレンスルホン酸ナトリウム、トコフェロール酢酸エステル、ジフェンヒドラミン、クロルフェニラミンマレイン酸塩、トウガラシ、ユーカリ油、及びオウバクからなる群から選ばれる１種以上を含む、請求項１又は２に記載の外用剤組成物。
【請求項４】
成分（Ｂ）がアクリル系ポリマー、セルロース系ポリマー、及びビニル系ポリマーからなる群から選ばれる１種以上の水不溶性ポリマーである、請求項１～３のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項５】
成分（Ｂ）が（アクリレーツ／ジアセトンアクリルアミド）共重合体、アクリルアミド・メタクリル酸メトキシポリエチレングリコール共重合体、アクリル酸・アクリル酸オクチルエステル共重合体、アクリル酸エステル・酢酸ビニル共重合体、アクリル酸２－エチルヘキシル・アクリル酸メチル・アクリル酸・メタクリル酸グリシジル共重合体、アクリル酸２－エチルヘキシル・酢酸ビニル・アクリル酸ヒドロキシエチル・メタクリル酸グリシジル共重合体、アクリル酸２－エチルヘキシル・ジアセトンアクリルアミド・メタクリル酸アセトアセトキシエチル・メタクリル酸メチル共重合体、アクリル酸２－エチルヘキシル・ビニルピロリドン共重合体、アクリル酸２－エチルヘキシル・メタクリル酸２－エチルヘキシル・メタクリル酸ドデシル共重合体、アクリル酸エチル・メタクリル酸メチル共重合体、アクリル酸エチル・メタクリル酸メチル・メタアクリル酸塩化トリメチルアンモニウムエチル共重合体、メタクリル酸メチル・メタクリル酸ブチル・メタクリル酸ジメチルアミノエチル共重合体、メチルセルロース、エチルセルロース、ヒプロメロース、カルボキシメチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロースフタル酸エステル、疎水化（Ｃ１６－１８）ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリビニルアルコール、及びポリビニルブチラールからなる群から選ばれる１種以上である、請求項１～４のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項６】
成分（Ｃ）がミリスチン酸イソプロピル、アジピン酸ジブチル、セバシン酸ジエチル、セバシン酸ジイソプロピル、トリエタノールアミン、モノエタノールアミン、ジイソプロパノールアミン、及び２－アミノ－２－メチルプロパノールからなる群から選ばれる１種以上である、請求項１～５のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項７】
成分（Ｄ）が低級アルコールである、請求項１～６のいずれか１項に記載の外用剤組成

物。
【請求項８】
前記外用剤組成物中の成分（Ａ）の含有量が０．００１質量％以上３０質量％以下である、請求項１～７のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項９】
前記外用剤組成物中の成分（Ｂ）の含有量が０．０１質量％以上３０質量％以下である、請求項１～８のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項１０】
前記外用剤組成物中の成分（Ｃ）の含有量が０．００１質量％以上３０質量％以下である、請求項１～９のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項１１】
前記外用剤組成物中の成分（Ｄ）の含有量が１０質量％以上９５質量％以下である、請求項１～１０のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項１２】
前記外用剤組成物中の成分（Ｅ）の含有量が０．１質量％以上７０質量％以下である、請求項１～１１のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項１３】
前記外用剤組成物中の成分（Ｂ）に対する成分（Ｃ）の質量比［（Ｃ）／（Ｂ）］が０．０５以上５０以下である、請求項１～１２のいずれか１項に記載の外用剤組成物。
【請求項１４】
請求項１～１３のいずれか１項に記載の外用剤組成物からなる、ローション製剤、ジェル製剤、軟膏製剤、クリーム製剤、又は泡状製剤。
【請求項１５】
請求項１～１３のいずれか１項に記載の外用剤組成物を用いた、エアゾール製剤又はポンプスプレー型製剤。
【請求項１６】
（Ａ）薬効成分、（Ｂ）水不溶性ポリマー、（Ｃ）不揮発性基剤、（Ｄ）揮発性溶媒、及び（Ｅ）水を含有し、２５℃における粘度が１．０ｍＰａ・ｓ以上１０，０００ｍＰａ・ｓ以下である外用剤組成物を皮膚に適用し、次いで乾燥させる工程を有する、外用剤組成物の使用方法であって、
成分（Ｃ）はエステル油、非極性油及びアルカノールアミンからなる群から選ばれる１種又は２種以上の不揮発性基剤であり、少なくともエステル油及び非極性油からなる群から選ばれる１種又は２種以上を含有し、
成分（Ｂ）に対する成分（Ｃ）の質量比［（Ｃ）／（Ｂ）］が０．０５以上であり、
被膜形成性を有する、外用剤組成物の使用方法。
【請求項１７】
前記外用剤組成物を皮膚に噴霧して適用する、請求項１６に記載の外用剤組成物の使用方法。
【請求項１８】
請求項１～１３のいずれか１項に記載の外用剤組成物を皮膚に直接塗布又は噴霧して適用する工程を有する、被膜の製造方法。